

たつたつ ハート

【編集・発行】



 社会福祉法人 **燕市社会福祉協議会**

 〒 959 - 1263 燕市大曲 4336 番地
 ☎ 0256 - 62 - 4361 FAX 0256 - 63 - 7735
 ホームページ : <http://www.tbm-swc.jp/>
 E-mail : tubame@tbm-swc.jp

 ●吉田支所 ☎ 0256 - 93 - 4630
 ●分水支所 ☎ 0256 - 98 - 6111


年頭のごあいさつ

社会福祉法人 燕市社会福祉協議会

 会長 **青柳芳郎**

原発の脅威がなお一層浮き彫りになり震災復興の大きな妨げとなつている最中、伊豆大島を襲つた台風をはじめ度重なる災害で被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

二〇一四年の初春にあたり、市民の皆さまにおかれましては、健やかに新たな年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

景気の回復が未だ不透明ではありますが、昨年中は、本会会員会費をはじめ、赤い羽根ならびに歳末たすけあい募金にご理解をいただき、温かいご支援を賜りました市民の皆さまに対し、心よりお礼申し上げます。ひとえに自治会をはじめ団体・企業関係各位のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

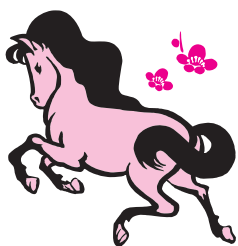
平成二十五年度は、誰もが支え合つて安心して暮らしていくために策定した『第二次地域福祉活動計画』を実践する初年度であります。同計画は、福祉行政や本会を含む民間事業所等が一丸となつて、市民の皆さまとともに支え合い活動を行つていくものです。皮切りとして、市内各まちづくり協議会にお伺いして、活動の趣旨などをご説明しながら活発な市民目線の声をお聞きしたところでございます。さらに

今後の活動に反映させるため、より身近な地区に出向かせていただく所存でございます。

実践では、本会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、「地域の支え合い活動に委ねる課題」や「関係機関が一体となつて取り組まなければならない困難な課題」に対して、その解決に向けた調整役を担ってまいります。

いずれにしても、支援に当たる関係機関の連携強化策と市民の皆さまの支え合い意識の盛り上がりと同時に進行していくことが大切となります。

依然として多難な社会情勢ではございますが、本年も役員一同、誠心誠意努めてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。最後に、市民の皆さまの益々のご多幸を心から祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。



第61回たすけあい

作文コンクール
入選作文集

社会福祉法人 新潟県共同募金会

キヤップ一こは

一人のわたし

燕市立分水小学校 三年 矢部 彩香

わたしは今、エコキヤップ運動に協力していません。はじめてスーパでエコキヤップボックスを見た時は、「何で集めているんだろう、わたしには、かん係ないな。」と思っていました。ペットボトルのキヤップ八百こで、一本二十円のワクチンで子ども一人の命がすぐえるという事なので、一人で八百も集めるなんてむりだし、だれかが集めてくれるだろうと思っていました。

ある時、まずしい国で、子どもを病気で亡くしたお母さんの泣いているすがたを見ました。それは、とても悲しいえいぞうでした。わたしはお母さんが大好きです。お母さんが悲しむすがたは、見たくはありません。ワクチンを注しやすければ、助かった命なのにそれを考えると、とてもくやし気持になりました。そのころから、命をたすけてあげたいなあと思うようになりました。けれど、二月から集めています。なかなか一人では集まりません。キヤップを集めるには、ペットボトルの飲み物を飲まないといけないからです。ほけんのじゆぎょうで、ペットボトルの中には、たけ山のさとうが入っていて、飲みすぎると病気になることが分かり、わたしの家族は、飲みすぎに気をつけています。お母さんがお湯をわかして、お茶を作るので、とくべつな日だけペットボトルの飲み物を飲みます。その時にキヤップをはずして集めています。だからあまり集まらないので、お

父さん、お母さん、お姉ちゃんにも協力してもらい、近くにすむおじいちゃんやおばあちゃんにもわけを話して、すてないで集めてほしいことをおねがいしました。

集めてから半年がたちました。八月一日にみんなが集めてくれたキヤップを数えてもらいました。キヤップは、全部で三百二十九こでした。まだまだだなあと思いました。

毎日あつい夏休み、アイスを買いにコンビニエンスストアに行きました。お店に入る時エコキヤップを集めているというポスターとエコキヤップボックスを見つけました。それは中学校のお兄さん、お姉さんたちでした。どんなお兄さんやお姉さんたちが集めているのかなあ、わたしと同じ気持ちで、うれしくなりました。家族に協力してもらうだけでなく、地いきのみなさんにも声をかけるなんてすごいなと思いました。

小さな子どもの命をみんなの力ですくおうとがんばっています。キヤップ一こでは何のやくにも立たないけれど、集まれば、子どもの命もすくえるくらいとても大きな力になるところが分りました。

わたしは、自分がペットボトルのキヤップのようだなあと思っています。わたし一人では、何もできないけど、できるところから、すこしずつ、つづけること、みんなに声をかけて協力してもらおうことで達成できるということが分かりました。

わたしは、子どもの命がたすかり、よろこぶお母さんの顔を思いうかべながらこつこつ集めて、八百こを達成したいと思っています。これからもつづけていきます。

「一瞬」を生きる。

燕市立分水小学校 五年 矢部 遥香

今、私は宇宙にとっても興味があります。図鑑を見ていたら、宇宙の全体が描いてあって、たくさん惑星がありました。こんなに大きく見える私たちの地球も、宇宙から見れば、なんて小さな星なんだろうと思わされます。そんな地球で、

私たちのような小さい人間が生きていくなかで、大きな悩みや悲しみがあつたとしても、とてもちつぽけなものに感じます。それに、地球の寿命は五十億年と言われています。それに対して、人間の寿命は平均八十才。宇宙から見れば、いかに短く、はかなく、ほんの一瞬の出来事なのかがよく分かります。

私はその『一瞬の命』を、どのように生きてたらいのかを考えてみました。やはり、みんなと笑って、やりたいことをやりとげ、みんなに優しくされたり、はげましあつたりしながら、楽しくすごしたいなと思います。

そのように生きるには、どうすればよいのか：それを考えた時、ある出来事を思い出しました。私が小学一年生、入学して間もなくのころです。初めて一人で教室に向かう時に、自分の教室がどこにあるのか分からなくなり、迷ってしまいました。悲しくて、がまんしきれず、泣いていたら、たまたま通りかかった六年生のお姉さんに声をかけられました。そして、

「どうしたの？」

と、やさしい口調で、声をかけられたのを今でも覚えています。泣いてばかりで会話もできない私に対し、顔や名札を見て、私の気持ちを分かってくれ、手を引いて教室までつれていってくれました。今思えば、なぜあんな場所で迷うのか、不思議なのですが、その親切にしてくれたお姉さんの事、その出来事は、忘れることはできません。

だから私は困っている低学年を見ると、声をかけて力になりたいと自然に思うようになりました。そして、私はあることに気づきました。それは、人は誰かに優しくされると、その優しくされた事を、いつまでも覚えていて、またその事を、別の誰かにしてあげたくなるのだということです。その優しさが、みんなに伝わって、誰かが別の誰かに伝えて、きつとまた、困った時に自分に返ってくるような気がします。それは、行動ばかりでなく、言葉にも関係があると思います。例えば、言葉使いです。優しく話しかけられれば自然と優しく返すことが出来ます。逆に、らんぼうな言葉で話しかければ、相手はさらさららんぼうな言葉で返すことうけあいです。

五年前私に声をかけてくれたお姉さんは、今もう高校生くらいになっています。わたしはお姉さんの名前も顔もはつきり覚えていません。お姉さんは、私の事も、その出来事も忘れていてと思います。

宇宙から見れば小さな小さな優しさだけれど、その優しさが、一人一人の『一瞬の命』をより楽しいものとし、そのことが、嬉しさに変えることが出来るかなと思います。

高学年になった今、正しい言葉使いで優しく接することに心がけていきます。みんなが楽しく笑って過ごす一生が送れたらいいなと思います。

やってよかった

配食ボランティア

燕市立吉田小学校 五年 山田 ひなた

私は今年の夏休み、何か新しい事に挑戦してみたいと思いました。私は、今までボランティアをしたことがなかったので、「配食ボランティア」というのがあるのを知って、やってみたいと思ひ、弟をさそって参加してみました。

配食ボランティアとは、一人暮らしのお年よりのお家を訪ねて、笑顔で元氣よくお弁当をとどける仕事です。「配食ボランティア」とかいてあるオレンジ色のぼうしをかぶってとどけに行きました。ふくろに包んであるお弁当を両手でしっかりとって一けん一けんわたしに行きます。

配達先の家に、いっしょにつれて行ってくれるボランティアさんの車に乗って行きました。乗っている間に、どうやってお弁当をわたすのか、どういう所のどんな人にとどけるのかを説明してもらい、お年よりで一人でごはんをつくれな人にとどけに行くということがわかりました。私は、国上山方面へお弁当をとどけに行くコースに行きました。一けん目の家に着くまでにごく時間がかかりました。国上山の上の方のあたりにすんでいるおうちに行くとき、途中から車をおりてそこから歩いてたので虫にさされながら歩いてきました。その時私は、たいへんだなあと思いました。

一けん目の一人暮らしのおばあさんの家のげんかんをあけ、

「お弁当です。」

と言いました。いっしょについてきてくれたボランティアさんが、

「今日は子どももいるぞー」と言うとおばあさんは、うれしそうにあわててげんかんに出てようとしたので、ころんでしまいました。

「あわてなくていいですよ。」

と、ボランティアさんがやさしく言いました。私は、「お弁当です」と言ってわたしました。おばあさんは「ありがとう」といつてくれました。二けん目の家は、そこからまた少し遠い、お寺です。チャイムを鳴らすと、おばあさんがでてきて

「ありがとうね。」

といつてくれました。わたせてよかったなあと思ひました。三けん目の家は、山からはずれて町の中にある家でした。その家は、ざんねんながらいいませんでした。それで、近所の人に「わたしおいてください。」といつて、たのみました。

私は、初めての「配食ボランティア」をやつてみて、はじめ一時間で三けんは少ないなあと思ひました。でも、車でいどうする時間もかかるし、お年よりなので、げんかんにでてるまで時間がかかり、三けん位しか行けないのだと分かりました。

今回ボランティアをして、ボランティアとは、誰か他の人のために役に立つ事をやつてあげたい、何かしよう、という気持ちが大さだと思ひました。役に立つ行動をして、その人が「ありがとう」と言つてくれると、とてもうれしくなりました。これからもまた、自分に何かできることはないか考え、ボランティアをしていきたいと思ひます。

燕市内の小・中学生から一二八作品の応募をいただき、三作品が佳作に入選いたしました。

来年度も多数の応募をお待ちしております。

心のバリアフリー(差別・偏見のない生活)の講演会を開催します

燕市障がい者地域生活支援センターはばたきでは、差別・偏見のない地域を実現するための啓発活動として、講演会を開催します。

障がいがあってもなくても、地域でともに支え合い暮らしていくために、できることを一緒に考えてみませんか? 皆さまのご参加お待ちしております。

◆とき…2月1日(土) 午後1時30分～3時

◆ところ…燕市役所 つばめホール

◆主催…燕市社会福祉協議会 燕市障がい者地域生活支援センターはばたき

◆内容…演題:「LD(学習障害)は僕のID～字が読めないことで見えてくる風景」(仮)
講師:南雲明彦氏(明蓬館(めいほうかん)高等学校共育コーディネーター)

◆参加費…無料(定員100名 電話にてお申し込みください。)

【申し込み・問い合わせ】燕市障がい者地域生活支援センターはばたき ☎0256-66-5688

**在宅介護を
されている方へ**

『ランチ交流会』へ参加しませんか！

たまには、いつもと違う雰囲気です食を食べてませんか？
在宅介護者同士の交流の場となりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

- ◆と き…平成26年2月8日(土) 午前11時30分～午後2時
- ◆と ころ…喫茶・レストラン オレンジ(燕市分水栄町13-14)
※現地集合・解散

- ◆定 員…20名(定員になり次第締切となります。)
- ◆対 象 者…在宅で要介護1～5の方を介護されている燕市民
- ◆参 加 費…1,000円(当日ご持参ください。)
- ◆申し込み…1月7日(火)より電話受付開始
1月21日(火)締切(土・日・祝日除く)
※申し込みおよびキャンセルは、参加される方が連絡をお願いします。

【申し込み・問い合わせ】燕市社会福祉協議会 吉田支所 ☎0256-93-4630



『支え合いスタート講座』 ～地域支え合い活動人材養成講座～ 参加者を募集します！

日常生活における地域での支え合いをはじめとするボランティア活動の基本的知識を学び、地域支え合い活動の実践者を育成することを目的として開催します。

- ◆開催日時…①1月21日(火) ②2月4日(火) ③2月14日(金) ④2月18日(火)
全4回コース いずれも午後1時～4時
- ◆定 員…20名(全ての回に参加可能な方)
- ◆参 加 費…無料

【申し込み・問い合わせ】燕市社会福祉協議会 吉田支所 ☎0256-93-4630

※講座に関する詳しい内容は、当会本所および支所に設置してあるチラシまたはホームページ(<http://www.tbm-swc.jp/>)をご覧ください。

この事業は歳末たすけあい募金の助成金で実施します。

ランドセルをプレゼントします

当会では、平成26年4月に小学校に入学される児童に対し、晴れやかな気持ちで入学を迎えてもらうことを目的として、ランドセルを贈呈します。

- ◆対 象 者…燕市に住所を有し、平成26年度に小学校入学の児童がいる世帯。ただし、市民税非課税世帯でありランドセルの購入が困難な世帯
- ◆給 付 品…原則男児は黒、女児は赤のランドセル
- ◆申請期間…平成26年1月15日(水)～2月10日(月)
- ◆申請方法…所定の申請書に必要書類を添付し、当会本所へ申請してください。
申請書は、当会本所・吉田支所・分水支所の窓口に用意してあります。

【申請・問い合わせ】燕市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎0256-62-4361

この事業は歳末たすけあい募金の助成金で実施します。

広がっています！ ふれあいサロン活動！

（誰でも、気軽に集える場所）

「ふれあいサロン」は、身近な場所で誰でも気軽に参加できる「ふれあいの場」です。近所の方同士集って話すことで、つながりや絆が生まれるので、住みやすい地域をつくるきっかけになっています。

（同じサロンは存在しない）

「ふれあいサロン」の主役は、そこに集う皆さんです。内容も開催日もルールも皆さんで決めて、作っていきます。そのため、燕市内にあるサロンはどれも中身が違っていています。違っていいのです。それが、その地域らしさなのです。

（サロンをきっかけに）

「ふれあいサロン」で顔を合わせていると、お互いのちょっとした変化に気づくことがあります。“ちょっと元気が無いな” “最近サロンに来なくなったな”といった変化です。この変化に気づくことは、その人のSOSに気づく最初のきっかけです。SOSを見逃さないことで、ご近所の中で困っている人を助けることができます。

（いろんなふれあいサロンの形）

ふれあいサロンは、大きく分けて次のようなパターンがあります。



ふれあいサロン
おしゃべりを中心に、参加者同士の交流を図ります



子育てサロン
子どもたちは元気に遊び、保護者は情報交換をします



ほっとサロン

在宅で介護をされている方同士の交流で、気分をリフレッシュする場です



介護予防のためのサロン

誰でも無理なくできる「レインボー健康体操」を中心に、皆さんで生涯現役を目指します

サロンに参加したい方、サロンを地域に作りたいという方、当会がお手伝いします。

お気軽にお問い合わせください。

燕市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎0256-62-4361

弁護士による法律相談【無料】

弁護士による法律相談を次により開催しています。
1月・2月開催分の予約を受け付けています。(要予約)

- 相談時間：午後1時～3時30分
- 担当弁護士：新潟県弁護士会弁護士

※弁護士による相談は1人30分を限度とします。
※開始時間は予約のときにお知らせします。

期 日	会 場
1月 10日(金)	老人集会センター (大曲)
30日(木)	
2月 10日(月)	分水保健福祉センター (新堀)
28日(金)	

【申し込み・問い合わせ】
燕市社会福祉協議会 本所 ☎0256-62-4361

心配ごと相談所

予約なしで受けられる心配ごと相談所を開設しています。
どのような相談でも結構です。お気軽にご利用ください。

- 開設時間：午後1時～4時

期 日	会 場
1月	8日(水) 吉田ボランティア・市民活動センター「あい. ゆう」(吉田大保町)
	9日(木) 分水保健福祉センター (新堀)
	14日(火) 老人集会センター (大曲)
	15日(水) 吉田ボランティア・市民活動センター「あい. ゆう」(吉田大保町)
2月	28日(火) 老人集会センター (大曲)
	5日(水) 吉田ボランティア・市民活動センター「あい. ゆう」(吉田大保町)
	6日(木) 分水保健福祉センター (新堀)
	10日(月) 老人集会センター (大曲)
	19日(水) 吉田ボランティア・市民活動センター「あい. ゆう」(吉田大保町)
	25日(火) 老人集会センター (大曲)

善 意 の 窓

- (有)グローバルさまより 300,000円
※チャリティーゴルフコンペ寄付金
- 鳥部敏行さまより 10,000円×2回
- 白根ガス(株)さまより 143,400円
- 山崎 弘さまより 60,000円
- 匿名さま(吉田地区)より 1,159円
- 匿名さま(吉田地区)より 切手4,400円分
- 市民の皆さまより 使用済切手、アルミ缶、リングプル、ペットボトルキャップなど

当会では、地域福祉推進のために
使わせていただいております。

～あたたかいご寄附に感謝します～

燕ボランティア連絡協議会さまより、12月1日(日)に開催されたバザーの収益金を新潟県共同募金会燕市支会へご寄附いただきました。ありがとうございました。

308,769円

福祉車両のご相談は
「福祉車両アドバイザー」
のいる
(有)中野自動車商会へ




燕市笈ヶ島 1259-1
フリーダイヤル：0120-559-154
<http://www.nakano-art.com/>

快適な暮らし、プロデュース。
自分らしさ見つけた…。



エコー金属株式会社

新潟県燕市小中川 1782 番地
TEL 0256-63-2107(代) / FAX 0256-62-3364
URL:<http://www.echo-k.co.jp/>

↑
この欄は、
会員の皆様
の広告欄です。